

職能アピールを絡めた、かかりつけ薬剤師としての実践報告～何をすればかかりつけ薬剤師として認められるのか～

青森県 黒石薬局 大川誠也 小田桐徳子 津川なつみ

かかいつけ薬剤師になっっていますか？

今回の発表では、かかいつけ薬剤師の契約をといたいが、どうすれば取ることが出来るのか悩んでいる方へ職能アピールを絡めた方法で、かかいつけ薬剤師の契約に結び付いたと思われる事例を紹介します。

現在のかかいつけ契約数は120名。当薬局は薬剤師2名です。

すべては薬剤師の職能アピールで解決

- 患者さんの立場になれば、いつでも薬などのことで話ができる薬剤師がいるのは心強いと感じています。
- 実際に薬剤師がこんなことをしてくれるんだ、自分のためにここまでやってくれるんだとわかると距離が縮まります。
- 世の中の患者さんは薬剤師の職能をほとんど知りません。そしてかかりつけ薬剤師とはどんなものかも知りません。

**言い換えれば、知ってもらうことで
ハードルが一気に下がります！**



情報のさらなる一元管理をする。

薬剤師が薬剤の一元管理を期待されています。それ以上に一部の
疾病情報の一元管理など、お薬手帳を活用した取り組みです。

取り組み① 抗コリン薬の使用可否確認

眼科の医師へ [redacted] 眼科
28.6.9
緑内障の治療をされていますが、
抗コリン薬の服用は大丈夫でしょうか？
☒ 可 その都度連絡必要 不可
黒石薬局 TEL 0172-53-6226

泌尿器科の医師へ
前立腺肥大の治療をされていますが、
抗コリン薬の服用は大丈夫でしょうか？
☒ 可 その都度連絡必要 不可
黒石薬局 TEL 0172-53-6226

手帳は必ず1冊に
まとめましょう。
『正確な飲み合わせを
チェックできます』

**まずは
お薬手帳！**

緑内障や前立腺肥大の患者さんに抗コリン薬の投与は禁忌です。処方されれば疑義照会をしていると思いますが、あらかじめ患者さんの手帳に医師宛にメモを付け回答をもらっています。この取り組みで、患者さんも疾病と薬の関係を知り、薬剤師がしっかり健康を守っていると知ってもらえます。

取り組み② 手帳の充実

男・女

日 年齢 歳

副作用歴 (有)・無) ☒ 有

お薬の名前

アモバン[®]の中身のみ
2016.6.2

主な既往歴

☐ アレルギー性疾患 ()

☐ 肝疾患 ()

の情報*

確認しましょう あなたの情報

副作用歴 (有)・無) ☒ 有

・ プラバstatin[®]をたまに

心疾患

アレルギー歴 (有)・無) ☒ 有

その他

注意を必要とする服用薬

☐ 抗凝血薬 (ワルファリン等)

☒ 抗血小板剤 バイアスピリン[®]

☐ 骨粗鬆症の薬 (ビスホスホネート系)

副作用や既往歴などを記載しておくことで、お薬手帳を通じ、薬剤師が合わない薬を出されないよう見守っていてくれると思うのではないのでしょうか？

取り組み③ 疑義照会の記載

1錠	1. オルメテック錠 10mg	1錠
1錠	2. アムロジピン錠 2.5mg 「アメル」	1錠
30日分	内服 一日1回朝食後	30日分
1錠	3. チザニジン錠 1mg 「日医工」	1錠
1錠	4. セパゾン錠 1	1錠
30日分	内服 一日1回夕食後	30日分
21枚	5. サンコバ点眼液 0.02%	2瓶
1調剤	外用 点眼薬 1日2回 1回1~2滴	1調剤
400g	医師の指示に従って使用して下さい。	
1調剤	6. モーラステープ L 40mg	35枚
	外用 湿布薬 1日1回 1枚使用 35日分 腰部	1調剤
	医師の指示に従って使用して下さい。	
2瓶	お薬についてご不明な点がございましたら、お気軽	
1調剤	にお尋ねください。	
ら、お気軽	黒石薬局	
	青森県黒石市ちとせ3丁目3	
	TEL: 0172-53-6226	
	FAX: 0172-53-6366	
	調剤済 28.6.28 大川誠也	
	* ウルビデカルシール (700) 6片 3回 毎食後	
	30日分 または 42日分 医師に確認後、処方	

医師の指示に従って使用して下さい。	
2. ザイザル錠 5mg	1錠
内服 一日1回夕食後	35日分
3. ノルバスク錠 5mg	1錠
内服 一日1回朝食後	35日分
4. ニフェジピンCR錠 10mg 「日医工」	2錠
後指 アダラートCR錠 10mg	2錠
内服 一日2回朝・夕食後	35日分
お薬についてご不明な点がございましたら、お気軽	
にお尋ねください。	
黒石薬局	
青森県黒石市ちとせ3丁目3	
TEL: 0172-53-6226	
FAX: 0172-53-6366	
調剤済 28.6.28 大川誠也	
* ウルビデカルシール (700) 6片 3回 毎食後	
30日分 または 42日分 医師に確認後、処方	

必ず、患者さんの前で記入しましょう！



投薬後の状況についても
フォローする。

これまでは投薬したら、次回受診時に体調確認や副作用の有無を確認していたのを、次回受診を待たずに確認します。

取り組み④ 投薬後の体調確認

一日2件程度です。

- ボノサッフが初めて処方されるケースで、体質に下痢がしやすいと記載があった場合など、服用により下痢が起こる可能性があります。そういったときにあらかじめ整腸剤を医師に提案するなど以外にも、調剤後2日くらいしてからご自宅に電話して、異常が起きていないかなど確認する場合があります。
- 特殊な吸入が処方された際など、薬局で手技を説明しますが自宅でも問題なく使えているかなど確認する場合があります。

どの薬で後日体調確認をするかは、その時の薬剤師の判断です。高齢者で服薬指導時に大丈夫かなと思った時や、認知症の薬などが初めて出された際などにも行います。

取り組み⑤ 服薬情報提供

- 長年、薬の種類も多く一包化調剤をしていた患者さん、ミヤBM細粒とムコスタ細粒も処方されているが粉で飲みにくいことを誰にも言っていなかった。医師に服薬情報提供書を発行し次回よりミヤBM細粒とムコスタ細粒を錠剤の規格に変更してもらえないか提案
- 夕食後と寝る前の服用タイミングが1時間しか離れていない患者さん。一包化しているが夕食後1種PTPと寝る前3種類の分包、少しでも服用を楽にさせるために夕の薬を次回から寝る前に変更できないか服薬情報提供書を発行し、提案
- 次回の診療までに患者さんが忘れてしまいそうな時に発行するケースが多いです。

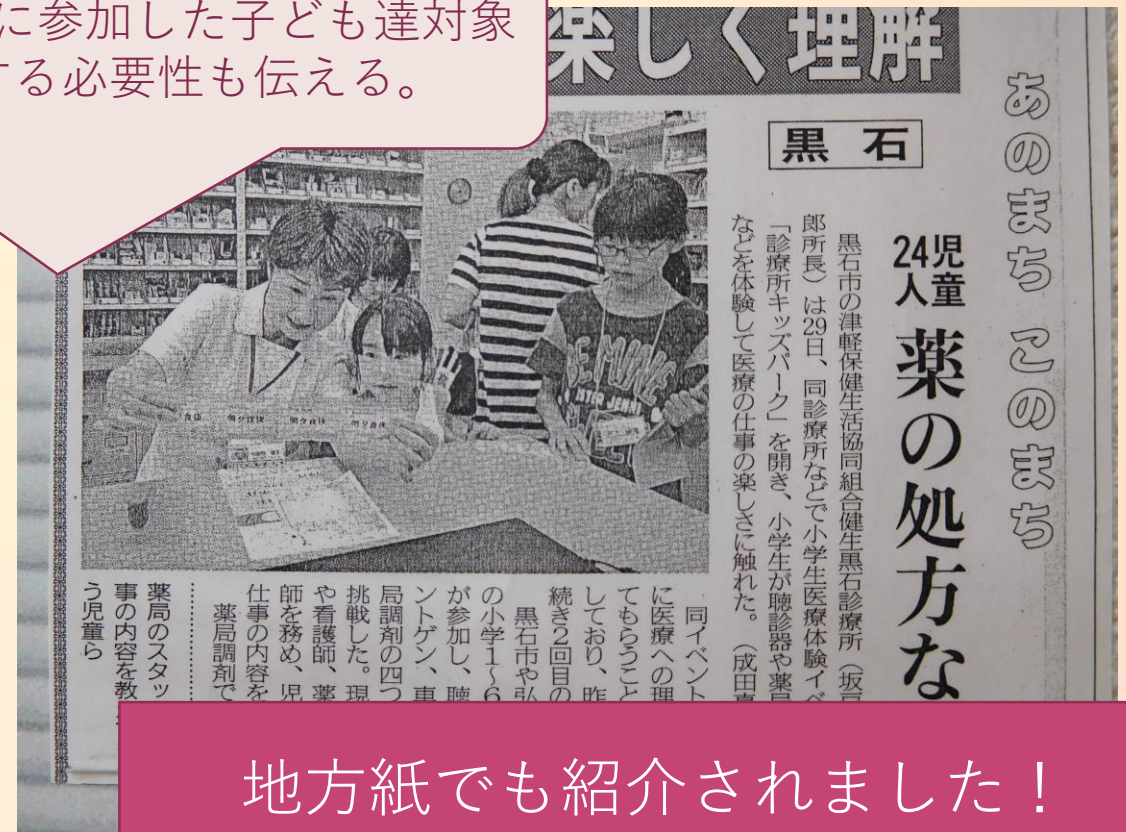


地域の住民へ薬剤師の存在や価値をアピールする。

いまだに薬局は薬を処方箋通りに作って渡す場所くらいの認識です。薬局の中でどのようなことが行われ、患者様の健康に貢献しているのかを知ってもらうのはもちろん、地域の健康をサポートする取り組みで地域貢献します。

その他地域活動①子供調剤体験

きっかけは診療所で行っている医師体験、そこに参加した子ども達対象に薬剤師体験、薬を作るだけでなく説明する必要性も伝える。



地方紙でも紹介されました！

地域活動②健康教室



第1回は糖尿病の患者様を対象に健康教室のチラシを提供し、5名の参加。糖尿病の理解と、飲み薬の違いを講義し、理学療法士の方に座って行える運動を紹介していただきました。第2回は乾燥肌に9名、第3回は認知症で地域包括のスタッフに来ていただき18名の参加でした。

- 調剤体験も健康教室も直接かかりつけ薬剤師に結びつきません。ただし、健康サポート薬局になる、ならないは関係なく地域の方々に薬局はどんなことをしているか知ってもらうことが重要ではないでしょうか？ 実際今まで門前で薬をもらっていた方が処方箋を持ってきてくれます。
- 調剤体験も子どもや親御さんに薬局での仕事を知ってもらい、職能をアピールすることがこれから薬剤師という仕事の認知度をあげるためにも必要だと思います。

まとめ

- 言い方が悪いですが、こちらから何かをして、この薬剤師なら色々してくれると感じてもらえた方にかかりつけ薬剤師の話をし
て契約に結びついていきます。
- かかりつけ契約が多ければいいというものでもありません！大事
なのはかかりつけになった後です！！
- 自分でこれだけしたんだからと自信があって、患者さんもそう
思ってくれたならぜひかかりつけ薬剤師の話をしてみてください。
案外ハードルは低いです。
- 内科系だからだと思いますが、夜間や休日にほとんど電話は来ま
せん…最初に24時間電話対応とちゃんと伝えています。もちろ
んのくらい金額が上がるかも伝えます！
- おかげさまで他の医療機関からの処方が増えています。

以上ご清聴ありがとうございました。

- **尚、今回のスライドにありました写真などはすべて発表に使わせていただくことを事前に了解いただいております、個人情報保護などに倫理的配慮も行っております。**